

地域を知り 体験し 未来を考える



「西田先輩に学ぶ」

学習スタート

昨年十月にご逝去された小原田中学校第二期生の西田敏行さん、その足跡を辿り、小原田の今と未来を考え、自分の未来を考える「西田先輩に学ぶ」の学習が、この五月からスタートしました。

子どもたちの大先輩であり、国民的著名人である西田さんですが、中学生である子どもたちは、意外に西田さんのことを知らないというところからこの学習の計画がスタートしました。

西田さんが、小原田を愛し、郡山そして福島に想いを寄せ、地域の人々に希望と勇気をもたらしたその功績は、地域民としての誇りです。

第一回目となる今回は、今の小原田中でただ一人、西田さんと直接電話で話をし、直接お会いした経験のある服部先生の授業です。

西田さんが生前にテレビ出演し、ご自身の幼少期の話をされた時のVTRを観ながら、子どもたちに西田さんを紹介していきます。

そしてそれは、導入で子どもたちに出題した西田さんクイズの答え合わせにもなります。

西田さんが中学時代に取



組んだ部活動もわかりました。

服部先生が体験した西田さんとの電話のエピソードから、そのお人柄も少し伺えました。

西田さんが番組の中で、ご自身の半生を振り返り「夢多き日々を生きる」という言葉をくださいました。

早くから夢をもち、ついには不世出の俳優となられた西田さん、そしてふるさとをこよなく愛した西田さんの足跡を辿り、遺された言葉や行いを通して子どもたちが学ぶことは、たくさんあります。

今回の授業だけでも、①自分をj知る ②チャンスを生かす ③夢をもつ と三つのポイントがありました。

子どもたちが偉大な先輩に導かれ、地元小原田に誇りをもち、地に足をしっかりとつけて生きる日が間近にきている、そう感じます。

市・県中地区 中体連総合



[教育目標]
健自 貴
康主任

小原田中だより

令和7年5月号
郡山市立小原田中学校
校長 関根宏房
ホームページURL
<https://www2.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=0720007>



運動部活動の集大成

五月三十日(金)郡山市及び県中地区中体連総合大会の選手壮行会が行われました。

今年度は、部活動改変の一つとして、支部大会となる郡山市の大会をなくし、田村支部、岩瀬支部とともに、県中地区の大会からスタートする競技がいくつもあります。

今回、小原田中が関係するのは野球とサッカーで、それ以外のバレーボール、バスケットボール、ソフトテニス、卓球は、これまで通り郡山市の大会からスタートします。次年度以降も徐々に市の大会をなくし、県中地区大会からスタートする競技が増えていくこととなります。

さて、夏に向けて行われる中体連の総合大会は、中学校で運動部に所属する子どもたちの最も大きな目標となる大会です。特に三年生は、この大会を目標に三年間練習に励んできており、その集大成となるため、一層力がいります。

この大会にかける想いが様々な場面で表出され、後輩である一、二年生がそれを見て、感じて成長するところは多いと考えます。

大会当日だけでなく、選手を送り出す壮行会もその一つです。

小原田中のユニフォームを身に纏い、大会に向けての意気込みを述べる選手たち。ステージ上で円陣を組み、気合いを入れます。主役の部の発表が終わると、応援団の登場です。ゆっくりと最後に登場した団長の号令で、校歌を斉唱し、各部へのエールが始まります。応援団員の呼びかけに元気がない返事をすれば、「元気がない」「声が小さい」と喝が入り、ついには部員一丸となって大きな返事が返されます。こうした選手気持ちは鼓舞され、大きな勢いとなって、送り出されます。応援により心に火を灯された子どもたちが、力を発揮し、活躍する姿を楽しみます。

女子低学年リレー 県中3位



五月十四日(水)十五日(木)に田村市陸上競技場において県中地区中体連陸上大会が行われ、小原田中からも代表選手が出場し、県中域内の各校選手と競い合いました。

中でも、女子の一、二年生が出場する四×百メートルリレーでは、予選を勝ち抜き、決勝で見事三位入賞を果たし、県大会への出場権を手に入れました。県大会は七月二日(水)～四日(金)にとうほうみんなのスタジアム(福島市)で開催予定です。

